

# 『世界の野球から学ぶ、これからの日本野球』

講師 阪長友仁（堺ビッグボーイズコーチ）

2月21日(木) 18:30～20:30 弘前会場

場所 泉野多目的コミュニティ施設(弘前市大字泉野3丁目6-2)

☆人口1000万人の小国から、毎年多数のメジャーリーガーを輩出。カリブ海に浮かぶドミニカ共和国出身の多くの選手たちが、メジャーリーグや日本のプロ野球で活躍しています。彼らの活躍を日本では『身体能力の違い』『ハングリー精神の違い』と表現されていますが、実は彼らの活躍の根底にあるものは我々日本人にもできる『選手指導・育成方法の違い』であることはあまり知られていません。



- ①日本と真逆の選手育成システムの違い！
- ②選手の個々の能力を最大限に引き出すプログラム・練習方法の紹介！
- ③筒香嘉智選手のドミニカ共和国ウィンターリーグ参加について！

毎年、多くの有望選手を輩出するドミニカ共和国の野球から、本物の選手指導・育成方法にぜひ触れてみてください。

野球指導者の方、保護者の方、将来指導者になりたいとお考えの方、野球やスポーツ・教育に興味のある方、どなたにも興味を持っていただける内容です。

閉塞感漂う日本の未来を変えるのは、今このパンフレットをお持ちのみなさんです！

## 【参加方法】

氏名・職業・メールアドレス・電話番号をご記入の上、下記アドレスまでメールにて事前にご連絡ください。

※件名に『2月21日 弘前会場参加希望』とご記載ください。

主催：こども共育塾つがる

共催：プロスペクト株式会社、NPO法人BBフューチャー、ONYONE

**Mail: [2019.h.players@gmail.com](mailto:2019.h.players@gmail.com)**

※定員50名、定員になり次第受付を終了しますので、事前にご予約下さい。

## 【参加費用】

大人 3,000円/人

学生 2,000円/人

## 【ナビゲーター紹介】

阪長 友仁(さかなが ともひと)

大阪府出身 新潟明訓高校、立教大学卒

☆プロフィール

- ・スリランカ野球ナショナルチームコーチ (2006年)
- ・タイナショナルチームコーチ (2006年)
- ・ガーナナショナルチーム監督 (2007年)
- ・青年海外協力隊 野球隊員 コロンビア (2008～2010年)
- ・JICA企画調査員 グアテマラ (2011～2014年)
- ・NPO法人BBフューチャー・プロスペクト株式会社 (2014年～)

ドミニカ共和国野球指導法調査・研究、国内チーム・プロ野球選手サポート業務などを実施

2015年12月 横浜DeNAベイスターズ 筒香嘉智選手のウィンターリーグ出場を現地でサポート

堺ビッグボーイズコーチ

2018年12月時点 ドミニカ共和国野球指導研修参加者(医師、教師、選手、保護者等)コーディネート 延べ100名



# 研修会参加者の声

・2017年度 各地セミナー開催数 延べ80回

・感想例

『世界基準で野球を考えたことがなかったので、大変参考になった！』  
(43歳、指導歴12年)

『投球制限に関する話が聞けて良かった！』(29歳、指導歴4年)

『選手との信頼関係のつくり方の根本を考え直していこうと思った！』  
(37歳、指導歴10年)

『これまで良かれと思ってやっていたことで、逆に子どもたちの成長の芽を摘んでしまっていたことに気付かされた！』  
(49歳、指導歴19年)

『これからは目先の勝利よりも、子どもたちの能力を最大限引き出せるような練習方法を考えていきたい！』  
(40歳、指導歴16年)

『保護者として子どもにポジティブな声掛けをして、子どもが野球を大好きでいられるようにしたいと思った！』  
(45歳、女性)

『メジャーリーガーを多く輩出しているドミニカ共和国の選手育成方法が日本の指導方法と根本的に違うことに驚いた！』(27歳、指導歴3年)

『今日話を自チームにどのように取り入れていくと良いか考えていきたい！』  
(53歳、指導歴14年)



## ドミニカウィンターリーグに参加した筒香選手のコメント

『ドミニカではものすごく荒れた草むらで、子どもたちが思いっきりバットを振り回し、何事もなかったようにゴロを捕って野球をしていました。彼らは全く失敗を恐れていないし、指導者は子どもたちがどんどんチャレンジできる環境を用意していることがすごく印象的でした。少しでも多くの日本の指導者の方が、ドミニカの野球に触れる機会を得て、日本の子どもたちの能力をさらに伸ばすことに成功し、将来大きな舞台で活躍できる選手を育てていただけたらと思います。』



ウィンターリーグ参加時の筒香選手と  
現地コーディネーター兼通訳を務めた阪長



試合前の球場で子どもたちと